

帝京大学宇都宮キャンパス卒業生アンケート（理工・地域）集計結果

アンケート実施期間：2021年8月1日～8月31日

アンケート対象者：2018年9月・2019年3月卒業生（大学院修了生は除く）

アンケート実施形式：卒業時保護者住所に案内発送、QRコード読取WEB回答（記名任意）

アンケート発送数：242件（宛先不明戻り9件）

アンケート閲覧数：58件

アンケート回答数：26件（回答率11.2%：26件/233件）

Q1 性別を選択してください。

男性(16名) 女性(9名) 無回答(1名)

Q2 所属学部学科を選択してください。

理工学部 機械・精密システム工学科(4名) 理工学部 航空宇宙工学科(7名)

理工学部 ヒューマン情報システム学科(3名) 理工学部 バイオサイエンス学科(6名)

経済学部 地域経済学科(5名) 無回答(1名)

Q3 卒業後の進路(就職・進学等)について総合的にどのくらい満足していますか。

満足(9名) やや満足(13名) どちらともいえない(2名) やや不満(1名) 不満(1名)

Q4 卒業後の進路から現在の職業が変わっていますか。

変わっている(2名) 変わらない(24名)

Q5 今後も現在の職場で働き続けたい(現在の仕事を続けたい)と思いますか。

続けたい(6名) やや続けたい(9名) どちらともいえない(5名) あまり続けたくない(4名)

続けたくない(2名)

Q6 卒業された学部・学科の教育内容に満足しましたか。

満足(8名) やや満足(12名) どちらともいえない(5名) やや不満(1名) 不満(0名)

Q7 教職員の支援に満足しましたか。

満足(11名) やや満足(10名) どちらともいえない(3名) やや不満(1名) 不満(1名)

Q8 卒業された学部・学科で学んだことや経験が、現在の仕事に役に立っていますか。

非常にそう思う(3名) ある程度そう思う(13名) どちらともいえない(4名) あまりそう思わない(3名)

全くそう思わない(3名)

Q9 卒業された学部・学科で学んだことや経験が、仕事以外の日常生活で役に立っていますか。

非常にそう思う(3名) ある程度そう思う(11名) どちらともいえない(6名) あまりそう思わない(4名)

全くそう思わない(2名)

Q10 仕事や日常生活で役に立っている「科目名」や「専門分野」を教えてください（記述式）

<機械・精密システム工学科>

- ・CAD（CATIAV5 の操作感）
- ・材料力学

<航空宇宙工学科>

- ・ビジネス英語、文章表現法、キャリア関係科目、専門科目、哲学、航空工学概論、
- ・機械、材料力学、機会製図、Office 系ツール操作
- ・機械設計

<情報電子工学科>

- ・情報理論、プログラミング

<バイオサイエンス学科>

- ・卒業研究で培った Excel、Word、PowerPoint などの基礎知識が役に立ちました。
- ・ウイルス学、食品科学、食品栄養学、公衆衛生学、微生物学
- ・応用微生物学
- ・化学分野、分析分野

<地域経済学科>

- ・ミクロ経済学
- ・地方自治法
- ・観光学、地域振興学、ベンチャー企業論、ゼミ
- ・ゼミ

<学科不明>

- ・政治・行政・法学、教職科目全般

Q11 大学生生活全般についてお聞きします。在学中に受けた教育内容やサービス等について良かった点や現在の仕事に活かされている点、改善が必要な点などを教えてください（記述式）

<機械・精密システム工学科>

- ・食堂メニュー、研究室在籍中に教えてもらった社会人になった後の心がけ、就活支援

<航空宇宙工学科>

- ・サークル活動からは専門知識だけでなくコミュニケーション能力、事務処理力、協調性が身につけられたと思います。また、大事な仲間を作ることができ大学生活を充実させられました。キャリア関係からは就職やその後のことまで深く考えることができました。ビジネス英語では非常に有意義な議論ができ英語力だけでなく高いコミュニケーション能力をつけられたと感じています。トレーニングルームを4年間使わせていただきましたが、設備の充実度は素晴らしいと思います。しかし、講義で使われる時間は追い出される為不快な思いをしました。1ヶ月前くらいには掲示してほしかったです。図書館や学友会のイベントはとても楽しかったです。他学科との繋がりが足りないのが残念でした。全体を通して、素晴らしい講師陣、スタッフ、仲間恵まれて4年間充実できました。卒業した後もまた戻りたいと感じたりしています。
- ・正直なところ、在学中は「大学卒業」のキャリア取得が第一目的であったため、将来のキャリアについては漠然としていた。実際に技術職として働いてるエンジニアとの交流の機会がもっとあれば、将来のキャリアについてもっと具体的に考えていたかもしれない。
- ・学内での合同企業説明会は少人数でより詳しく説明を聞くことができる良い機会だったと感じています。帝祭の他に、他の学部生と交流するイベントがあったら人脈や知識の幅をより広げることができたのかなと思いました。
- ・研究室の教授に大変お世話になり 感謝しております
職種が違うため 大学で学んだ事は活かされていませんが 今の勤め先に満足しています

<情報電子工学科>

<バイオサイエンス学科>

- ・弓道場が自由に使えたことが本当に良かった。
履歴書や面接で話せることが多かったのは弓道場があったおかげです。
- ・実務ではあまり活かされないが、検定などの資格を取る時に良かった。
- ・卒業研究で行ったデータの取り扱い
- ・高価な実験機器も多く貴重な経験を得られた。論文の書き方等は現在の業務にも生かされている。就職のサポートもしっかりしていて前向きに就活に臨めた。しかし、得る知識は卒業研究で使う機器に限られ、基礎実験等では実際に覚えるまで操作できないため、様々な機器の取り扱いに慣れる機会が欲しかった。

<地域経済学科>

- ・ゼミ等で地域振興について学び、就職活動の際に活かすことができた点
- ・就活支援
- ・地域経済学科は、地域の機関や企業との近接さが強みだと思います。社会人になると、常に自分の意見や考えを求められます。大学生のうちに、社会や多くの人に触れて、自分の考えを養い、他に伝えられるようになることが大事と感じています。大学での、フィールドワークやグループ単位でのワーキング等、体験型の授業はとても役に立ちました。コロナ禍で難しいとは思いますが、そういった授業を今後も取り入れてほしいです。

<学科不明>

- ・基本的な教養や専門的な知識が身についたことは大学で学んだ財産と言えるもので、様々な場面でコミュニケーションをする際の有効なツールとなっています。

特に先生方の真摯な対応・ご支援に大変助けられました。(面談や相談等)

ただ、中には対応に疑問を抱いた教員・職員が居たのも事実です。

教員では時間を守らない・個人情報の取扱いが出来ていない・繰り返されたハラスメントなどについて、私自身が直接関係したこともありましたが、友人が被害を被ったこともありました。

そういった教員が現在も在籍している上に教授に昇格しているなどの状況を見ると、もう少し大学側も厳しく判断してほしいと感じるものです。

また、職員の中には威圧的であったり上から目線での対応をする方も居て、友人との話題によく上がっていたのも事実です。

交通面ではバスの乗り継ぎ問題で苦労しました。

明らかに講義の開始・終了時刻に合わないダイヤが多かったため、アンケートの折に何度も意見を書いたのですが全く改善されなかったのが大変残念です。

学生の利用者はかなり多いと思いますので、関東バスにも柔軟な対応を求めて欲しいと思います。

交通手段というのは大学生活に密接な関わりを持っていると思います。

帝京大学宇都宮キャンパス卒業生アンケート（柔整）集計結果

アンケート実施期間：2021年8月1日～8月31日

アンケート対象者：2018年9月・2019年3月卒業生（大学院修了生は除く）

アンケート実施形式：卒業時保護者住所に案内発送、QRコード読取WEB回答（記名任意）

アンケート発送数：48件（宛先不明戻り1件）

アンケート閲覧数：15件

アンケート回答数：7件（回答率14.9%：7件/47件）

Q1 性別を選択してください。

男性(4名) 女性(3名)

Q2 所属学部学科を選択してください。

柔道整復学科(7名)

Q3 現在の状況について教えてください。

卒業直後の就職先に継続して勤務している問5へ(4名)

卒業直後の就職先とは別の組織に勤務している→問4へ(3名)

就職活動中→問8へ(0名) その他(記述式)(0名)

Q4 問3で「卒業直後とは別の組織に勤務」と回答された方はその理由を教えてください（複数回答可）

給与(1名) 人間関係(2名) やりがい(1名) 休暇(1名) 労働時間(2名)

職場環境(3名) 仕事内容(2名) キャリアアップ(0名) 評価・人事制度(1名)

健康上の問題(1名) その他(1名:明らかなブラック企業のため)

Q5 現在の勤務先に対して総合的にどのくらい満足していますか

満足(0名) やや満足(5名) どちらともいえない(1名) やや不満(1名) 不満(0名)

Q6 問5の回答の理由を教えてください（記述式）

- ・(やや満足) 給料はいいが、支払いをすると満足に使える金額が少ないため。独立を検討中。
- ・(やや満足) いろいろと学ばせてもらっているが、昇給や昇格がないのでモチベーションが上がりづらい。
- ・(やや満足) 仕事内容には概ね満足しているが、現在は自身のスキル向上や人間関係を考えると異なる環境へステップアップするべきだと思っているため。
- ・(やや満足) 給料が安い、休みが少ない、PT、OTがあるのでリハビリの勉強はできる、外傷がおおい、手術室がある
- ・(やや満足) 勤務時間が適している。
- ・(どちらともいえない) やりたいことはできているが拘束時間が長く、治療時間の短さが不満なため
- ・(やや不満) センター長が人間的に幼く、内部の職員の意見を取り入れないためです。そして社内の場を乱すような行為を平然と行い、職員の方々も私同様不満を感じているため。

Q7 差し支えなければ現在の勤務先を教えてください（記述式）

Q8 在学中に受けた教育内容やサービスについて良かった点、また、現在の仕事に活かされている科目や専門分野を教えてください（記述式）

- ・解剖学、生理学、運動学は治療の基本となっているので学べてよかったです。
- ・実技内容(可動域測定や検査測定、固定法など)は基本的に現在の仕事先でも活かされていると思う。
多くの固定方法を経験させていただいたことは、他大学の卒業生と比較してもなかなかない機会であったのだと改めて感じた。
解剖学や生理学、時には一般臨床や外科学の分野も活かされる場面があると思っている。アスレティックトレーナーの授業で行った評価や実技はとくに実感している。

Q9 在学中に受けていれば現在の仕事に役立っていたと思われる教育内容やサービス、科目や専門分野を教えてください（記述式）

- ・スポーツ外傷の患者さんがいるので、トレーナー系の科目を受講しとけばよかったと思う。
- ・マッサージとツボの実習
- ・脳梗塞のリハビリや高齢者の身体機能について詳しく学びたかった。
- ・手技療法や物理療法の実技

Q10 最後に、国家試験に向けた後輩へのメッセージをお願いします（記述式）

- ・年々国家試験が難しくなってきた柔道整復師への門が狭くなってきています。柔道整復師の免許を取ただけでは当然ご飯を食べていけません。難しい国家試験を突破してからがスタートです。昨今は接骨院も増えて就職難も続いている厳しい世界ですが、人に感謝される大変素晴らしい仕事です。個人的には独立まで視野に入れている人しか生き残れない世界となってきた感じもしますので先を見据えた進路選択をするようにしてください。国家試験はあくまでスタート地点ということを忘れずに自分を奮い立たせて頑張ってください。・国家試験は資格を得るための試験であってゴールではないので、試験のための勉強ではなくもっと長期的に見て(教科書から更に広げて)学んでいくべきだと思います。
- ・受験勉強するのは当たり前だが、現場ではそこを基本としてさらに深く知っとかなければいけないことがとても多いので、時間に余裕がある学生のうちに学べるだけ学んだ方がのちに楽になります。
- ・今までやってきたことを信じて、全力で頑張ってください。就職してから努力してよかったと思う日が必ず来ます！！
- ・頑張ってください